

<平戸市 様>

上映日:2021/1/29(金)& 2/11(木) & 2/23(火)

場所:長崎県立平戸高等学校&平戸文化センター&たびら活性化施設(長崎県平戸市)



高校生や市民向けに3ヶ所で実施。介護や認知症について考えるきっかけに

●上映会を開催するに至った経緯を教えてください。

介護職人材確保支援事業の一環として、昨年は「ケアニン～あなたでよかった～」を市内7ヶ所で開催しました。続編についても市民、介護事業所の皆さんに観ていただき、介護職のイメージアップ、モチベーションアップにつながればと思います。今回は高校と市の施設2ヶ所の、合計3ヶ所で開催しました。

特に、市内に福祉コースを持つ高等学校が2校ありまして、福祉コースを選択していても、介護の世界にとどまる生徒さんはごくわずかで、介護職のイメージをなんとか変えていただき、将来に希望をもってもらいたいとの思いで開催の計画を立てた次第です。

●メンバーを教えてください。

市長寿介護課介護保険班職員及び共催の佐世保県北圏域介護人材育成確保対策連絡協議会のメンバーです。

●協力の得られた団体はありましたか？

共催の佐世保県北圏域介護人材育成確保対策連絡協議会のメンバーの一員でもあるため、その連絡協議会の事業内容に盛り込んでいただいています。

●資金はどのように捻出しましたか？

市の一般会計予算(介護職人材確保支援事業)及び佐世保県北圏域介護人材育成確保対策連絡協議会からの助成によります。

●今回の活動を通じて、地域作りに繋がったエピソード等があれば教えてください。

市内の福祉コースを持つ高等学校の先生方と繋がりができました。

●地域へどのように告知をしましたか？

チラシ、ポスター、広報誌、ホームページ、回覧板です。
公立病院でのポスター掲示も効果がありました。

今回は、コロナウイルス感染症のこともあり直接の行動は遠慮してしまいましたが、教訓として次回開催するとしたら、学校へ話をする際は教育委員会へ働きかけ、直接、各学校へ働きかけることが大事だと思います。

●上映会当日の様子や、上映会開催の感想を教えてください。

コロナウイルス感染症対策をしながらの上映で、参加者は前回の半数程度でしたが、コロナ渦に上映会を催してくれてありがとうと幾人の方から、お声かけいただきました。
介護保険制度(認定に関すること)や、介護事業所が地域でどのような位置にあるのかなど、普段知りえない内容を映画を通して市民の皆さんに理解していただく機会となる映画です。

高校でも、介護や認知症などについて考える機会になったようです。とても感動し、涙ぐむ生徒さんばかりでした。将来を担う生徒、特に福祉を目指している生徒の皆さんに向けて上映できたことは、とても有意義なことだと思います。